

NTT西日本グループのグループ会社における環境保護の取り組みを紹介します。

## ▶高セキュリティ環境が確保されたPCセキュリティリサイクルセンターを開設

ネオメイトグループは、地球環境に配慮したパソコン等IT環境の循環型ビジネスとしてパソコンリユース（再使用）の普及を支援して行きます。

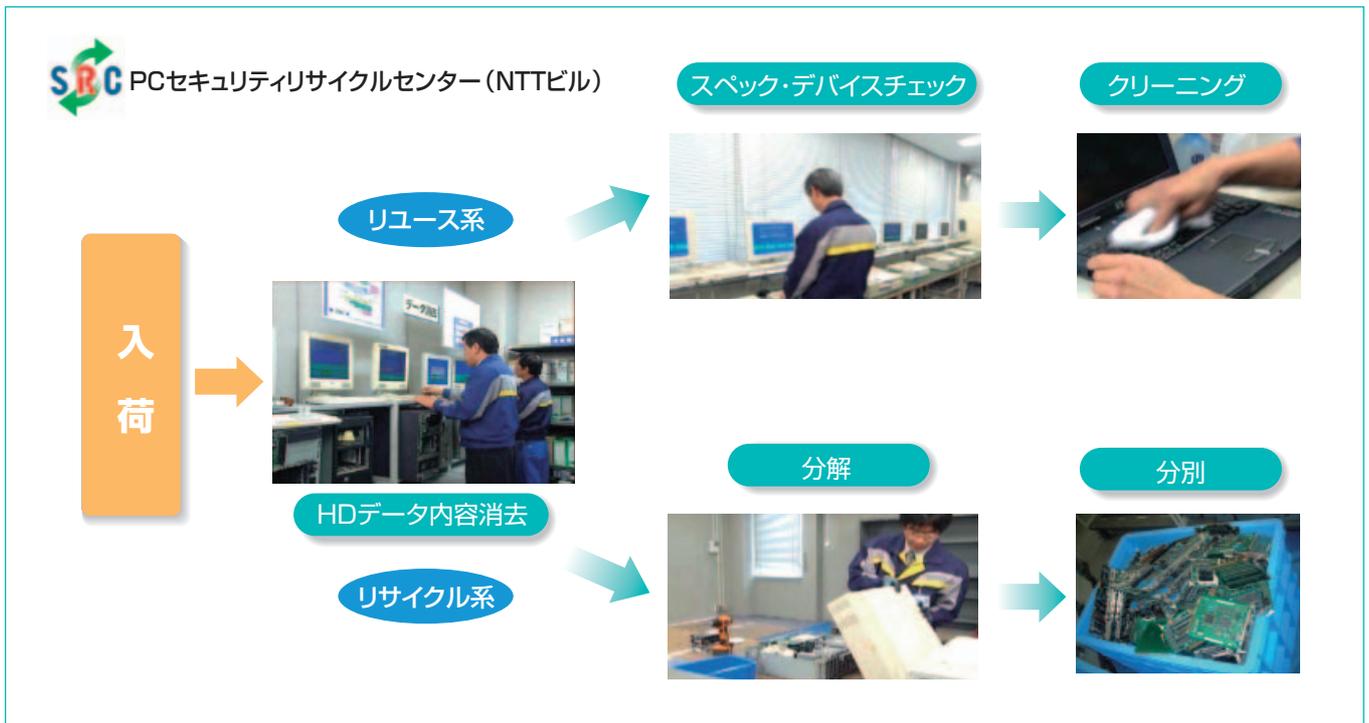
NTTネオメイトは、リースアップパソコンなどの情報機器に残留するデータの消去から中古パソコンの再生、産業廃棄物としての中間処理までを高セキュリティの環境のもとで一元的に行う「PCセキュリティリサイクルセンター」を東京リース株式会社様と設立し、2005年2月から運営を開始しました。

NTTネオメイトは、これまでも西日本の7拠点に専用センターを設け、ハードディスクのデータ内容消去サービスなどを展開してきました。PCセキュリティリサイクルセンターは、高いセキュリティが確保されている静岡県のNTTビルに開設。センターでは、データ内容消去だけでなく中古パソコンの再生、さらには部品・素材として最大限に再利用するための産業廃棄物中間処理までをNTTネオメイトが一元的に行います。データ内容消去にはNTTネオメイトが自社開発した専用ソフトウェ

アを使用しております。本ソフトウェアは「Neo'z NEODELETE」で性能及び信頼性は既にも実証されており、米国国防総省セキュリティガイドラインに準拠した消去方式を採用しているほか、現在市販のソフトウェアではサポートしていないUNIX機にも対応しています。また、重要な情報を扱うデータ内容消去作業は、NTTネオメイトの社内資格認定者を配置するほか、生体認証システム等の各種セキュリティシステムを導入し、万全なセキュリティ体制を確保しております。

今回の活動は、パソコンのリサイクルを推進し、環境保護を支援しており、当センターにおける年間のパソコンの再生処理数は、約3万台を予定しております。

今後、企業経営を取り巻く環境においては、CSR（企業の社会的責任）が益々重要になってきています。自社の責任で個人情報保護、著作権保護、地球環境保護を推進することは、ステークホルダーに対してのCSRであるといえます。



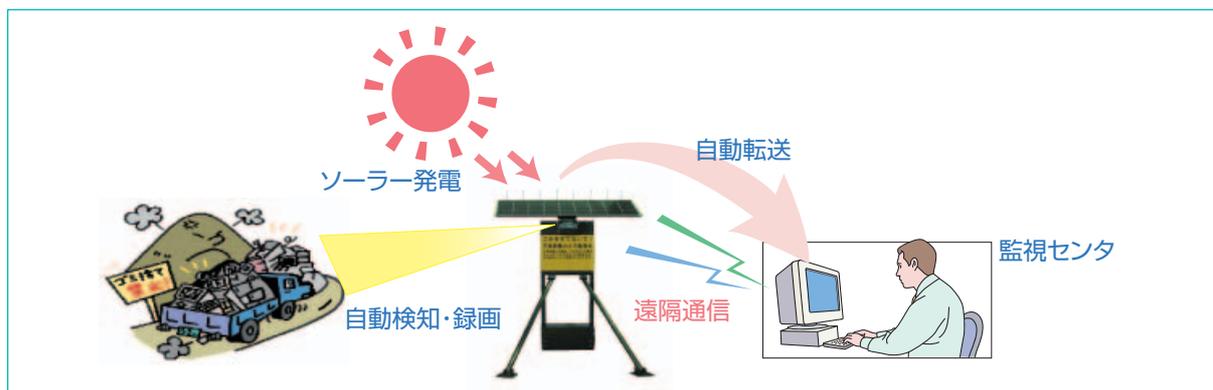
## ▶ ゴミ不法投棄監視装置の開発及び販売

NTTネオメイト三重では、山中・河川・海岸等の場所に設置して不法投棄の監視をする「ゴミ不法投棄監視装置」を開発し、自治体様の環境対策としてご利用いただいています。

NTTネオメイト三重では、県内の自治体様からの要望により、2003年より通信システムと監視カメラを組み合わせたシステム開発・商品化に取り組み、2004年4月に販売を開始しました。「ゴミ不法投棄監視装置」は管理の目が届きにくい山中・河川・海岸等のゴミ不法投棄を遠隔で監視できる装置であり、2005年8月現在、三重県内外の6自治体

様に17基使用していただいています。

本装置は、不法投棄の重点監視場所に設置する「固定式」の他、監視場所を容易に変更できる「移動式」があります。ソーラーバッテリーにより電源確保が困難な場所でも利用が可能です。画像データの伝送には、インターネットやDoCoMo携帯電話等から遠隔監視センターにリアルタイム送信する他、装置内にデータ蓄積することもできます。装置本体は、林道や河川敷などの悪環境でも長期設置が可能な錆びにくく頑強な筐体としています。



本システム導入による効果としては、自治体様の不法投棄監視稼働を削減し、実際に導入された自治体様からは「本システム設置により不法投棄はほとんど無くなった」とのお言葉をいただいています。



監視装置（移動式）三重県



Nightカメラによる撮影（昼間）  
車両との距離 10m